

砂防学会誌投稿原稿 刷り上がりイメージ

著者名 (和) は、明朝, サイズ 10.5

砂防 太郎*

1. はじめに

このフォーマットは、砂防学会誌に投稿する場合に著

者が刷り上がり

大見出し (章) は太ゴシック, サイズ 10.5。1 行空けてから大見出し (章) を記す。本文は 25 字詰め, 明朝, サイズ 9。

5 字の見やすさ) と

の状態で知っても

原稿を作成提出して

50 定後、実際の印刷に当たっては、印刷会社が提出された

電子データや原図等を編集して製版します。刷り上がり

10 イメージはその際の見本として使用しますが、印刷段階

でこのイメージと異なる (図表の位置が多少変更になる

など) こともあります。掲載決定後に印刷会社でレイア

ウトして、著者校正を行います。したがって、最終ペー

ジ数はその時に決定されることを了承して下さい。

15 原稿の作成にあたっては、「砂防学会誌投稿要領」および

「砂防学会誌執筆要領」を確認して、適切な体裁の原稿

の作成をお願いします。図・表・写真を含めた原稿を

「刷り上がりイメージ」として作成して下さい。それを

pdf に変換したものを電子メールに添付して提出して下

20 さい。

2. 原稿体裁

刷り上がりイメージは A4 サイズ, 余白は上下 15 mm,

左右 18 mm とします。1 ページ目の表題等の構成は原稿

25 種別毎に異なりますので、適切なテンプレートをご利用

下さい。

報告, 新刊・文献紹介, ひろば, 随想, ニュース, 訂

正などの原稿は次の構成とします。

1) 表題

30 2) 著者名・所属 (全著者を記載)

3) 本文 (和文または英文のいずれか)

4) 引用文献または参考文献

表題等の下から、本文を始めて下さい。本文は 25 字×

50 行×2 段組とします。図 (写真含む)・表は本文の適切

35 な箇所にオブジェクトを挿入して下さい。

原稿の刷り上りページ数は以下のとおりです。報告は

4 ページ以内 (超過ページを含めて最大 8 ページ)。新刊・

文献紹介と訂正は 1 ページ以内、ひろばは 2 ページ以内

とします。

40 ページ数の詳細や投稿者が負担する費用については、

「砂防学会誌投稿要領」をご確認下さい。

採用が決定した原稿に対しては、「掲載予定表」を送付

します。掲載決定後、原稿 (本文, 電子化された図表写

真) 電子データを提出していただきます。

2. 本文の刷り上がりイメージ

2 ページ以降は本文, 図表を適宜組み合わせて入力し

て下さい。

2.1 図表および数式

論文などの刷り上がりイメージの書き方を参考にして

下さい。

2.2 見出し, 箇条書き, 句読点

本文中には次の見出し番号を付けて下さい。

第 1 順位 (章) 1. 2. 3. …

第 2 順位 (節) 1.1 2.2 3.3 …

第 3 順位 (項) 1.1.1 1.1.2 1.1.3 …

箇条書き 1) 2) 3) …

見出しの後は改行し、全角 1 字空けて本文を書き始め

ます。なお、第 1 順位 (章) の前は 1 行空けて下さい。

60 句読点は、カンマ (,) と丸 (。) を用いて下さい。な

お、カッコなどには全角 1 字分を充てて下さい。

2.3 引用文献・参考文献

文献を引用する場合、引用文献方式と参考文献方式で

形式が異なりますので注意して下さい。

2.3.1 引用文献方式の場合

本文中で例えば (芦田ら, 1978) と書き、末尾に次の形

式で記載します。

芦田和男・高橋保・水山高久 (1978) : 山地河川の掃流砂

量に関する研究, 砂防学会誌 (新砂防), Vol.30, No.4,

70 p.9 -17

2.3.2 参考文献方式の場合

参照箇所を上付き片括弧で示し、末尾に次の形式で記

載します。

1) 堀田紀文・厚井高志 : 山地からの土砂流出の変遷の実

75 態 - 流域の土砂貯留量の変化に着目して-, 砂防

学会誌, Vol.63, No.5, p.52 -61, 2011

80

日本語の場合「・, : -」等は全角、巻号頁の「.-/」等は半角。英語の場合、半角記号と半角スペースを用いる ; 例) 「: title, Vol.1, b : c」。web ページの引用の詳細は砂防学会誌執筆要領を参照してください。

脚注は、フォント明朝, サイズ 8